

プロジェクト名：ベトナム国メコンデルタ酸性硫酸塩土壌造林技術開発計画

(調査期間：1997年11月～1.0ヵ月、担当業務：環境モニタリング)

調査背景

ベトナム国南部の約400万haに及ぶメコンデルタ地域のうち約40%に相当する約160万haが酸性硫酸塩土壌地帯である。この地域は強酸性であるために有効に利用されず、生産性は低いままである。本プロジェクトは、ロンアン省タンホア地区の780haの地域をモデル地区とし、地域住民、特に貧困層の生活水準の向上を目的とした、酸性硫酸塩土壌の改良及び適合樹種の選定、造林技術の開発のための技術協力で、1997年3月より3年間の予定で実施されている。対象地区はメコンデルタ内にあり、特に雨期の増水によって冠水するため、植林するためには盛土工事が必要であるが、土壌が強酸性であるため工事実施に伴う酸の流出等、周辺環境への影響も懸念される。

調査概要

この短期専門家派遣（環境調査）は、当該造林プロジェクトに関連して、環境関連全般の調査を行うために要請された。調査実施内容は、ベトナム国の環境保全全般や環境影響評価に関する行政・組織・法令等の情報収集及び解析、既存の類似プロジェクトの環境インパクトの検討、及び当該造林プロジェクトに係る環境モニタリング計画の作成等であった。

担当事項

- ヴィエトナム国の環境保全政策の包括的把握：環境保全全般に関連する行政、組織、法規、ガイドライン等の情報収集及び解析を行う。
- プロジェクトの環境インパクトの検討：既存の類似プロジェクトを調査し、土壌、水、森林資源に対する正及び負のインパクトを検討する。
- 環境モニタリング計画の作成：現在実施中の水質測定に対しての助言を行い、今後の環境モニタリング計画を作成する。

